

プログラム番号	06058
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	立命館大学 理工学研究科		
②学長名	長田 豊臣		
③所在地	〒604-8520 京都府京都市中京区西ノ京栞尾町1番地の7		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	理工学部事務室・事務長補佐	
	担当者氏名	尾崎 弘司	e-mailアドレス kojioza@st.ritsumei.ac.jp
	電話・FAX番号	077-561-2625・077-561-2629	
⑤ホームページ URL	http://www.ritsumei.ac.jp/eng/		
⑥大学院在学留学生数	279人(うち、国費留学生 49人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	技術経営に重点を置いた英語による国際産業工学特別プログラム
②プログラムの形態	博士前期課程+博士後期課程(2+3年間)
③実施研究科・専攻	理工学研究科 創造理工学専攻(博士前期課程)
	(所在地) 滋賀県草津市野路東1-1-1
④連携大学・研究科・専攻名	理工学研究科 情報理工学専攻(博士前期課程) 総合理工学専攻(博士後期課程)
⑤受入れ学生数	30人(博士前期課程25人・博士後期課程5人) (うち研究留学生優先配置人数: 博士前期8人・博士後期3人) (うち日本人学生数: 0人)
⑥担当教員数	前期課程合計 216人(うち専任: 186人、兼担: 28人、非常勤: 2人) 後期課程合計 193人(うち専任: 180人、兼担: 13人、非常勤: 0人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 理工学研究科・教授
	研究科長名 高倉 秀行

【3. プログラムの内容】

1. 国際産業工学特別プログラム（IPAIT）の概要

- 立命館大学は、日本を代表する私学の1つであり、日本の中央に位置する広大で新しいびわこ・くさつキャンパス（BKCキャンパス）（1994年4月開設）に国際産業特別プログラムを開設している。このプログラムには、博士前期課程と博士後期課程の両課程を設置している。
- 国際産業工学特別プログラムでは、日本の産業基盤を支えている先進的な科学技術の基礎および技術開発マネジメント関連科目を学ぶことができる。また、既設のテクノロジー・マネジメント研究科との連携によってMOT関連科目も学習することができる。
- 講義および研究指導はすべて英語で行うので、日本語の能力は必要としないが、日本での日常生活や日本語でのコミュニケーション等を考え、初級から上級にわたる日本語教育科目も配置している。
- 学生の募集対象国は世界各国とするが、日本政府国費留学生については、東アジア諸国の本学との協定を有する高等教育研究機関の教員・研究者および政府関連機関からの応募者を優先する。

2. プログラムの内容

（1）設置するコース

国際産業工学特別プログラムは、博士前期課程の2つの専攻中に下記の9つのコースを、博士後期課程の1専攻中に下記の5つのコースを設置する。

課程	専攻名	コース名
【博士前期課程】 国際産業工学特別 プログラム	創造理工学専攻	①応用化学 ②電子システム ③機械システム ④環境都市 ⑤先端融合科学（放射光生命科学） ⑥先端融合科学（マイクロ・ナノサイエンス・集積化システム） ⑦先端融合科学（歴史都市防災）
	情報理工学専攻	⑧計算機科学 ⑨人間情報科学
【博士後期課程】 国際産業工学特別 プログラム	総合理工学専攻	①応用化学 ②電子システム ③機械システム ④環境都市 ⑤情報

（2）カリキュラムの特色と構成

●博士前期課程

博士前期課程のカリキュラムには、①共通科目、②固有専門科目、③演習・特殊研究科目、④日本語教育科目（共通科目）を配置する。

①共通科目では、下表に示すように、本プログラム独自の技術経営関連の2科目（国際産業工学特殊講義1・2）を配置する。インターンシップ科目を共通科目の中に配置し、日系企業での企業経験を積むことができる。インターンシップは、出身国の現地日本企業法人で働く場合の導入教育と位置付けている。

②固有専門科目では、本プログラム独自の技術経営関連の2科目（国際産業工学特殊講義3・4）の他に、応用化学、電子システム、機械システム、環境都市、先端融合科学、計算機科学、人間情報科学の各コースにそれぞれ5科目以上を配置する。

③演習・特殊研究科目は、修士論文作成のための研究指導科目であり、指導教員および指導教員以外の教員による複数指導体制によって複数の視点からの修士論文・研究指導を行う。

④共通科目の日本語教育科目（科目名：科学技術日本語プレゼンテーション1～4）では、初級から上級までの複数の科目を配置し、修了後の出身国と日本との交渉ツールとしての日本語運用能力の獲得に重点を置いている。

科目群	科目名	修了要件
共通科目	科学技術日本語プレゼンテーション1～4 インターンシッププログラム 国際産業工学特殊講義1（技術移転、国際地域経済等） 国際産業工学特殊講義2（知的所有権等）	6単位以上 （各2単位）

固有専門科目	国際産業工学特殊講義3（研究開発管理） 国際産業工学特殊講義4（国際・地域協力、国際開発） 上記2科目を含め各コースから5科目以上を選択	10単位以上 （各2単位）
演習・特殊研究	国際産業工学演習1～4（各セメスターに配置） 国際産業工学特殊研究（最終セメスターに配置）	14単位以上 （演習各2単位/特殊研究6単位）
合計		30単位以上

●博士後期課程

博士後期課程のカリキュラムには、講義科目、実習・演習科目、特別研究・特別演習科目を配置する。

①講義科目は、必ずしも博士後期課程で履修する必要はないが、より一層の学力向上を目指して、研究マネジメント関連科目のアドバンストコース科目（国際産業工学特殊講義Ⅰ～Ⅳ）の履修を推奨する。また、海外インターンシップ科目を必修的科目として配置し、学生に対して強く履修指導を行い、学生の行っている研究と海外の企業や大学での研究活動との交流を通じて、その研究の位置付けや幅広い視点を涵養する。

②特別研究・特別演習科目においては、博士前期課程に比して、研究指導により重点を置き、3年以内での学位取得を推進する。

科目群	科目名	修了要件
講義科目	海外インターンシップⅠ～Ⅵ（各1単位） 国内インターンシップⅠ～Ⅵ（各1単位） 科学技術日本語プレゼンテーションⅠ～Ⅳ （各2単位） 国際産業工学特殊講義Ⅰ～Ⅳ（各2単位） （技術移転、国際地域経済、知的所有権、 研究開発管理、国際・地域協力、国際開発）	履修推奨
実習・演習科目 （各1単位）	研究交流実習Ⅰ～Ⅵ 研究マネジメント演習Ⅰ～Ⅵ 英語研究発表演習Ⅰ～Ⅵ 異分野情報交流実習Ⅰ～Ⅵ	履修推奨
特別研究・特別演習科目	理工学特別研究Ⅰ～Ⅵ（各4単位） 理工学特別演習Ⅰ～Ⅵ（各1単位）	特別研究8単位以上

3. 募集時期と募集方法

●募集時期は、日本政府国費留学生については、立命館大学と協定を有する高等教育研究機関および政府関連機関を中心として、毎年11月から12月に推薦を依頼する。私費留学生については、毎年2月に募集要項をHPにて公表し、出願期間は4月中旬を予定する。

●募集方法については、以下の方針で行う。

①日本政府国費留学生については、立命館大学と協定を有する高等教育研究機関の教員・研究者および政府関係者に重点を置いて募集する。

②私費留学生については、募集国は世界各国・地域とするが、中国、台湾、韓国、ベトナム、タイ、インドネシア等の東アジア諸国・地域に重点を置いて募集する。

4. 選考方法と選考結果の通知

●選考は、日本政府国費留学生および私費留学生ともに書類審査により行う。ただし、志願者の所在地によっては、面接を行うことがある。特に日本政府国費留学生については、出願までの確認事項として本学での指導希望教員に事前相談を行い、研究計画や研究内容について確認することを求め、面接又はインターネットインタビューを行う。

●合否は、本人および所属大学へ通知する。

【国際産業工学特別プログラムの詳細な情報については、以下の本学URLをご参照下さい。】

『<http://www.ritsumeai.ac.jp/eng/>』